

(四倉地区まちづくり検討会)
令和5年度第1回4 KuLabo①②合同ワークショップ会議
(交流・防災拠点づくり検討WG・公共施設再編後の跡地利活用検討WG)
要旨

■ 日 時

令和5年7月20日(木) 18:00~20:00

■ 場 所

四倉町商工会館 大会議室

■ 会議の流れ

- 1 開会
- 2 挨拶
 - ・都市計画課長
 - ・四倉地区行政嘱託員(区長)協議会 会長
- 3 議事
 - (1) 説明
 - 交流・防災拠点施設検討の基本的な考え方と整備コンセプトについて
 - (2) 懇談
 - 四倉地区における小中学校のあり方について
 - (3) ワークショップ
 - 交流・防災拠点において実現したいシーンの検討について
- 4 その他
- 5 閉会



■ 意見交換の概要(要旨) ○: 関係団体委員 ⇒: 事務局・行政委員

(説明: 交流・防災拠点施設検討の基本的な考え方と整備コンセプトについて)

○ ご意見なし

(懇談: 四倉地区における小中学校のあり方について)

- 児童数が減少していく中で、いわき市の学区の考え方はどのようになっていくのでしょうか?これまでどおり、地区内の学校に通うことになるのか、それとも、学区に縛られることなく、自由に学校を選ぶことができることになるのでしょうか?
- ⇒ いわき市は現在も学区制ですが、将来的に学区が無くなるといったことはないと思います。なお、条件によって学区を変更することは可能であり、小学生であれば、両親が共働きで放課後児童クラブを利用するために学区を変更する事例が多くあります。
- 少子化が進んでいる中で、四倉小の児童数が減っていない理由を把握していれば教えてください。
- ⇒ 手元に資料がないため、詳細については分かりませんが、小学生は令和5年度まで増加し、そのあと減少しているのに、中学生が増加している理由としては、小中

学生の人数は毎年1学年ずつ繰り上がることにはなりますが、学校によっては、新1年生が必ずしも減り続けるわけではなく、例えば、1年生が100人いた年の翌年は90人、また翌年は95人といったように増減があって、その積み上げが学校全体の人数になりますので、そういった傾向が中学校に反映されるのにはタイムラグが生じることとなります。

- 仮に駅裏の工場跡地に四倉小学校と四倉中学校だけを移転するとなれば、上仁井田地区を大浦小学校の学区から四倉小学校の学区に変更してほしいといった声が、地区の住民からあがってくると考えられますので、検討の参考にしていただければと思います。
- 大浦小学校は築34年で施設としてはまだ使えると思いますが、洪水浸水想定区域に位置しているため、子どもたちの安全面で不安であり、地区の避難所として使用できていません。そのため、長期的な視点で見えていただければ、大浦小学校を含めた統合の検討をお願いしたいと考えています。また、子育てを行っている世代からすれば、小中9年間を見据えた教育を推進できる新たな学校を、放課後児童クラブと併せて整備してほしいと考えています。さらに言えば、学校施設と隣接して、公民館と図書館も集約していただき、生涯学習の拠点として整備していただきたいです。
- 我々PTAとしましては、今回の公共施設の集約にあたり、要望書を提出することを検討しております。できることであれば、ワークショップに参加している団体様からも賛同いただき、連名として名前を追加させていただくことにご了解いただきたいと考えています。
- 現状を考えると不便な事や問題もあるかもしれませんが、是非、今まで活用できていない工場跡地を利用して、5年10年先ではなく、20年30年40年先を見据えた公共施設を整備してほしいと思っています。また、子供たちだけではなく、大人も集えるようなエリアにしていきたいです。
- 少子化なので、将来的に四倉小学校と大浦小学校の統合は避けて通れない問題と考えていますが、避難所としていた四倉小学校と四倉高校が仮に無くなるとしたら、周辺に住むお年寄りは駅裏まで避難できるのでしょうか？そのような問題も検討していただければと思います。

(ワークショップ：交流・防災拠点において実現したいシーンの検討について)

～現在の施設利用に関する意見交換～

医療関係者の方より

- 公民館についてですが、在宅医療の出前講座や高齢者向けの講座を開催する時に、2階の会議室をたまに使用します。会議室は広いので、たくさんの方が入れる利点がありますが、EVがないので、高齢者には上がるのに大変ご苦労されています。そ

れが原因で講座に参加できないという方もいるかもしれません。

- また、現施設は空調設備の効きが悪いことや開口部が大きくプロジェクターを使用するような会議に適さないことから、新しい施設では、改善していただきたいと思っています。

PTA 関係者様より

- 公民館を娘が卓球クラブで使用していましたが、活動が夜遅くになるとクラブが施設のカギを預かることもありました。そのような信頼関係や施設のゾーニングがすごくいいなと思っているので、新しくなっても続けていただきたいなと思っています。

行政職員より

- 生涯学習施設の窓口は昼間しか開いていないので、昼間働いている方などは、施設を予約する際に手間を感じています。そのため、当課では、スマートフォンやパソコンからの施設の予約案内を充実させていきたいと考えています。また、鍵については、物理的なもの以外でも、QRコードや暗証番号による鍵の実現性について検討しています。

PTA 関係者様より

- 図書館についてですが、おすすめの本コーナーは使いやすいと思うのですが、総合図書館のようにフリースペースや読み聞かせをするスペースがないので、ちょっと不便なところも感じます
- また、机やイスが無く、勉強するスペースがありません。せつかく公民館と併設しており、行き来できるのですからもう少しいい使い方はないかなと思っています。
- 大浦小学校は 1980 年代後半までは夏に校庭で盆踊りと夏祭りを行っていました。また、体育の日に地域対抗の球技大会や文化の日にバザーをやっていたので活気があって楽しかったです。このようなことがまたできるといいなと思っています。

区長会関係者様より

- 社会福祉協議会が主催で、コロナが流行する前までは“高齢者ふれあいの集い”という高齢者を 300 名くらい集めたイベントを自然の家や公民館や実施していました。公民館が会場だと駐車場が少ない、高齢者が 2 階に上がれない、空調設備の効きが弱いといった問題を感じています。

～ワークショップ～

- 感想としてこれだけ地域の意見を聞きながら、進めるプロジェクトはあまり聞いたことがありません。地域の方がもっとプロジェクトの前に立っていけるようになればもっといい街になっていくと思います。

※時間の都合上、ワークショップはここで終了となってしまったので、次回のワーキンググループ会議はワークショップの意見交換から続きを実施する予定としています。